2012年4月14日作成

平成24年度本予算成立

	本予算への賛否（敬称略）
賛成（14名）	深作・末益・宮坂・西川・宝・長谷川 岡本・醍醐・西山・岡野・芦田・秋葉 田村・中村
反対（6名）	折本・柳・水野・広瀬・元木・美勢

今回の議会は平成24年度本予算を巡る質疑が主なものであったが、その予算には市民の最大関心事である「液状化対策」は含まれてはいなかった。

「液状化対策」は、国からの交付金が決定した段階で、補正予算として組まれることになるはずだ。1次申請の248億円に対し、7千万円の調査費のみが認められている。

このような不透明な状況のなか、「最悪の場合、市の各種基金にも手をつけざるを得ない場合も出てくるのではないか」との質問さえ議員の中からあがった。

聖域なき財源論議を期待したい。

財政調整基金	115億円
庁舎建設基金	82億円
その他	112億円
計	309億円

市は3月末に2次申請をし、国の理解に期待を懸けている。

◆教育民生常任委員会で長谷川議員は予算に反対との立場だったが、本会議では賛成にまわった。何を考えているのだろう？

◆西川議員によれば、国の復興交付金がゼロで、市債の追加発行で賄っても、今後とも市の財政の健全性には問題がないらしい。「ほんまでっか？」

液状化対策費がわずか7千万円？

浦安市の復旧と復興対策に関して、明らかになったこと。

復旧予算（液状化対策は入っていない）

復旧費は5年間で（H23～H27）で302億円（今年度は73億円）。財源は①市の一般財源48億②市の地方債の発行34億③国・県から220億。

復興予算

浦安市の「復興」＝「液状化対策」であるが、対策も金額もすべて「検討中」とのこと。

傍聴者のつぶやき

◆液状化対策は、国からの交付金頼み？ もらえなかったらどうするの？

その他の災害対策

●秋葉議員が一般質問で、境川での西水門の底抜けと護岸遊歩道の陥没がほぼ同時に発生した結果、高波・津波・地震による**元町の危険度が増加したことを指摘し**、浦安市が千葉県に対し、さらなる交渉力を発揮するように要望した。確かに「液状化の浦安」に**「水害の浦安」が加われば**、災害に弱い街のイメージは決定的になってしまう。

●**高洲中央公園の**液状化で浮き上がった**貯水槽**をモニュメントとして残すことになった（予算157万円）が、いくつかの疑問点が残る。

①浮き上がり防止対策を施していたが、想定外の液状化規模のために浮いてしまった。であるなら**技術的に何が弱点であったか**を、液状化技術検討委員会の専門家に検証してもらい、今後の対策に役立てるべきではないか。

②地中に残された貯水槽をそのままにしておけば、次の地震の**再液状化**で貯水槽が地上に飛び出すか、沈み込む危険性も無視できない。市はこのような危険性を認識しているのだろうか。

動き出した「新庁舎建設」計画

24年度予算に新庁舎建設予算1億7484万円が計上された。この予算に対し一般質問で2名の議員から、また総務常任委員会でも質疑がされた。さらに一般質問をした議員によると、「東京新聞の報道では2012年度基本設計、2013年度着工、2015年度完成」とのことであった。

市長の市政方針の中で新庁舎建設に関わる記載に対して代表質問では各会派から少しづつ視点を変えた質問があった。それに対する市長の答弁の主眼は2つ。①市政方針どおり防災拠点としての必要性、②82億円の基金があるという財政的な裏づけであった。

・ 総務常任委員会での質疑

ここでの新庁舎建設にかかる主な質疑は①市民への理解②新庁舎建設の規模、の2点が主な質疑であった。

・最終的に本会議で承認された。

傍聴者のつぶやき

◆新庁舎問題で、秋葉議員が「住民投票」に触れてたよね。確かにこの問題は「住民投票」に値するね。

◆直下型大地震がきたとき、元町は火災、中町・新町は水害と、再液状化で残ったのは新庁舎だけということになりはしないか。**「何でこの時期に新庁舎建設なのか」**やはりここは液状化対策に全力を挙げて欲しいと思うのが多くの市民の率直な気持ちではないか。

放射能汚染対策費予算計上「ゼロ」！！

昨年末の市民へのアンケートによると、市民の6割近くが「放射線による健康への被害」を心配している、と回答。しかし、放射能汚染対策費はゼロ。

近隣市では既に独自で検査をしている。これは子どもの命をどのように考えているか、ということだと指摘する議員もいた。

傍聴者のつぶやき

◆前回の12月議会で岡野議員は放射能対策に的を絞って頑張って質問していたのに、今回はどうしたのだろう？ ましてや放射能対策費ゼロの予算に賛成したのにはビックリ。

	近隣の放射能汚染対策費	
市　名	H24年度予算額	H23年度決算額
浦安市	0円	672万円（※）
市川市	6,600万円	9,400万円
船橋市	8,292万円	1億 2,500万円
八千代市	2,106万円	2,391万円

（※）測定器等機材購入、市有地測定の業務委託費

「『議員報酬減額特別委員会』設置」否決

本発議は昨年12月議会での本紙特集「『議員報酬等10％カット』発議（柳議員）反対多数で否決」の続編です。

【発議第3号】（発議提出者:折本／敬称略）
「浦安市議会議員の議員報酬減額を検討する特別委員会」の設置について

○賛成討論
12月議会で「議員報酬10％カット」の発議が提出されたが「拙速すぎる」とか「手続き上の不備」の理由で否決された。従って今回は条例改正ではなく「削減を検討する」ための「特別委員会の設置」を提案。
○反対討論:なし
○採決結果:否決

	発議第3号への賛否（敬称略）
賛成（6名）	折本・柳・水野・広瀬・元木・美勢
反対（14名）	深作・末益・宮坂・西川・宝・長谷川 岡本・醍醐・西山・岡野・芦田・秋葉 田村・中村

傍聴者のつぶやき

◆12月議会で「議員報酬カット」の発議に対し、さかんにヤジをとばしていた某議員も今回は無言だった。
議論は市民にも解るよう、公平に願いたいものです。
反対討論もなく反対とは「何故？反対なの」一言聞きたかった。

特集

宝議員より「第５期介護保険事業計画」についての一般質問があった。

宝議員は、平成21年9月に浦安市議会から提出された「特別養護老人ホームの整備を求める決議」に賛成者として名を連ねており、議員として関心を持ち続けているのであろうと、市民としては心強く感じる次第です。
但し、宝議員と健康福祉部長とのやり取りを聞いて、何か誤解しているのではないか、との疑念が湧いてきた。

① 宝議員は「特養が増えると保険料がアップする」との見解をお持ちで、特養を希望する宝議員の支持者にその旨を説明しても、理解が得られないと発言していたが、次の質問にどう答えるのだろうか？
✎平成18年以来特養の増設はなく、入居者数も190名程度の横這いで、　介護給付（支払い）も横這いであるのに、給付全体額が増えている（結果的に保険料のアップに結びついた）のは何故か？
✎上記質問の答えは簡単で、居宅サービスに対する給付が急増しているからである。ただし、宝議員は居宅イコール自宅との認識ではないのか。
　居宅サービスの増加とは、民間の有料老人ホームへの入居者の増加を意味しているのである。（H18年145名、H21年205名、H23年240名、H26年見込み334名/浦安市資料より）
✎つまり、特養の不足のため、やむを得ず市内外の民間の有料老人ホームへ入居する要介護者が急増しているのであって、宝議員の支持者のほうが、上記の実態をよく理解していると言っても良いのである。

② むしろ、第4期の計画では特養は60床増の計画であったのに結果はゼロとなった原因を聞いて欲しかった。
この答えは簡単で土地がなかった、との言訳である。（場所の当てもないのに、大きな計画を組むのも問題だが。）現在、土地の見込み（給食センター跡地・学校跡地）が出てきたのに、特養の候補地にしないのでは、先の言訳は一体何だったのか？

② 平成27年以降に広域型（他市からの受入可）の大規模特養（80床）の計画を耳にしているが、浦安市民優先規定を設ければ、待機者は増加しているので、空床となる心配は小さい。もし他市から受入れても、介護費用は他市の介護給付負担となり、浦安の保険料のアップに影響はない。

特養待機者数：H21年288名、H22年305名、H23年362名

④ 宝議員がこの問題を更に勉強され、支持者の皆さんの期待に応えられるよう、中町地区の特養設置に向けても、是非頑張って下さい。

その他のテーマのつぶやき

◆消防音楽隊の制服が、2人分（夏用と冬用）で、約50万円だって。1着12万円もするの？
◆児童虐待の実態について某議員が質問。当局の答弁では、H21年度155件、H22年度151件、H23年度170件。結構多いんだ。

あなたが選んだ議員の活躍ぶりを傍聴しましょう！！

一般質問や委員会質疑は議員の皆さんの日ごろの調査や活動の成果が見える場でもあります。
日程は「浦安市議会のホームページ」をご覧いただくか、議会事務局にお問い合わせてください。（047-351-1111から議会事務局に取り次いでもらえます。）

◆発行：「浦安市議会ウォッチングの会」
代表：西島延大
◆連絡先　・e-mail：watching@jcom.home.ne.jp
・fax: 047-355-9079
◆会のブログ：検索は「浦安市議会　傍聴」でOKです。

会報のポスティングにご協力いただける方のご連絡お待ちしています。